

報告事項キ

美術常設企画展示「前田寛治 -絵と言葉-」の開催について

美術常設企画展示「前田寛治 -絵と言葉-」の開催について、別紙のとおり報告します。

平成22年6月29日

鳥取県教育委員会教育長 横 濱 純 一

美術常設企画展示「前田寛治 - 絵と言葉 - 」の開催について

1	展覧会名	前田寛治 - 絵と言葉 -
2	会 期	平成22年6月27日(日)～7月19日(月・祝) <休館日:6月28日(月)、7月12日(月)>
3	会 場	鳥取県立博物館 2階近代美術展示室
4	観覧料金	一般180円(団体150円)
5	概 要	鳥取県を代表する洋画家・前田寛治(1896～1930)の画業を、前田が執筆した絵画論・随筆の文章と共に紹介する。

1 展覧会の趣旨

前田寛治は、鳥取県中北条村(現・北栄町)に生まれ、東京美術学校に学び、帝展など中央の展覧会を舞台に活躍した画家である。日本近代洋画史に大きな足跡を残しており、全国的な知名度も高い。

しかし、前田が晩年に活発な執筆活動を行い、数多くの絵画論を発表していたことは、今日ではあまり知られていない。そこで本展では前田の主要作品とともに彼の文章を掲示し、前田の制作理念や絵画観を改めてたどる機会とする。

2 みどころ

当館所蔵作品および寄託・借用作品の中から、前田寛治の油彩画・素描を前田の文章のテーマに即して展示する(油彩25点、素描10点程度を出品の予定)。併せて、前田が影響を受けたフランスの画家ギュスターヴ・クールベの作品も1点出品する。

また、前田がパリ留学中に購入した美術書や、帰国後に読んだ社会思想書などの旧蔵書約20冊(当館蔵)も、参考資料として初めて公開する。

3 主な出品予定作品

(1) 前田寛治作品

《物を喰う男》1924年、《工場内部》1924年、《西洋婦人像》1925年頃、《ブルターニュの女》1925年、《伏臥裸婦》1928年 等

(2) ギュスターヴ・クールベ作品

《まどろむ女(習作)》1852年

4 関連事業

学芸員によるギャラリートーク 7月17日(土) 午後2時より